

## SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	エイジレス・アカデミー・ラボ			
ラボ代表者	氏名	深堀 浩樹	所属	看護医療学部
ラボ設置期間	2016年7月1日 ~ 2024年3月31日		7	年間

ラボラトリの学外研究拠点 ※学外の拠点で活動している場合、その詳細を記載ください。	
名称（例：東京〇〇ビル）	所在地（例：東京都〇〇区〇〇1-1 5F）

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
深堀浩樹	看護医療学部・教授	ラボの統括
宮川祥子	看護医療学部・准教授	ICTに関する検討
小熊祐子	スポーツ医学研究センター・准教授	スポーツ医学・健康増進に関する検討
村井純	慶應義塾大学・教授	SFCにおける活動の検討
秋山美紀	環境情報学部・教授	SFCにおける活動の検討
國領二郎	総合政策学部・教授	SFCにおける活動の検討
山内賢	体育研究所・教授	歩行に関する研究
飯田健次	SFC研究所上席所員	聖隷藤沢ウェルフェアタウンにおける活動聖隷
金子仁子	SFC研究所上席所員	SFCにおける活動の検討
真志田祐理子	看護医療学部・助教	SFCにおける活動の検討
増谷順子	SFC研究所上席所員	SFCにおける活動の検討
和田優	SFC研究所上席所員	SFCにおける活動の検討
那須佳津美	SFC研究所上席所員	SFCにおける活動の検討
金井直子	SFC研究所上席所員	SFCにおける活動の検討
他3名		

## 年次活動実績報告

### 研究活動報告 (設置申請書, 継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

2021年度の活動は以下の通りである。

- ・聖隷藤沢ウェルフェアタウンにおいて継続して行っている活動である入居者への太極拳を継続して行った (主として飯田が担当)。
- ・聖隷藤沢ウェルフェアタウンの高齢の入居者の健康に貢献する活動として、ウォーキングと太極拳に関する講演会を開催し、好評であった (主として山内、飯田が担当)。
- ・本ラボの設立当初より重視していた6つのテーマ (①歩育 (歩行などの健康の基本要素)、②養知 (認知レベルの評価・理解)、③笑学 (コミュニケーションツールの活用)、④注学 (QOL・ADLの向上やリスク要因の認識)、⑤効考 (食などによる自分に合った体力維持)、⑥題学 (自分の人生の夢などの実現))のうち④、⑤に対応する活動として、コロナ禍における感染予防とQOL維持を目指した活動を行った。具体的にはフェイスシールドの活用状況についての調査を、福岡県及び一部千葉県、奈良県、神奈川県含む50施設4医療介護団体ヒアリング等として行った (主として和田が担当)。
- ・聖隷藤沢ウェルフェアタウンの管理者・研究者と2022年度以降の活動について協議を行い (主として深堀、真志田が担当)、2022年度以降の活動について検討した (全メンバーが担当)

なお、構成メンバーの「他3名」は松本佐知子、奥村朱美、市原青葉であり、いずれもSFC研究所上席所員、役割はSFCにおける活動の検討である。

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

2021年度は聖隷藤沢ウェルフェアタウンの入居者への活動を主として行ったため、研究としての成果発表はなかった。